

会場 南館4階「錦」

8:00 ~ 8:30

◇ 受付・ビデオ放映

8:30

◇ 開会の辞

8:30 ~ 8:40

◇ 会長挨拶

8:40 ~ 9:00

◇ 解説

座長：釘宮 豊城（順天堂大学名誉教授）

1. 酸素ボンベポスター 齋藤 繁（群馬大学大学院医学系研究科 麻酔神経科学分野教授）
2. 「715 通知」改訂の概要 一般社団法人日本産業・医療ガス協会医療ガス部門 技術委員

9:00 ~ 10:30

◇ シンポジウム 1「呼気ガス測定の将来」

座長：花岡 一雄（JR東京総合病院名誉院長）

コメンテータ：森山 潔（杏林大学医学部麻酔科学教室 准教授）

1. 「気管支喘息における呼気 NO の位置付け」
渡辺 雅人（杏林大学医学部第一内科（呼吸器内科）学内講師）
2. 「呼気分析による医療診断のこれまで、そしてこれから」
澤野 誠（埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 准教授・診療部長）
3. 「呼気ガス診断の現状と今後の可能性」
下内 章人（中部大学大学院生命健康科学研究科生命医学専攻教授）
4. 「嗅覚 IoT センサに向けた総合的研究開発」
吉川 元起（物質・材料研究機構 MANA ナノライフ分野 ナノメカニカルセンサグループ グループリーダー）
【共催】住友精化株式会社

10:30 ~ 11:30

◇ 一般演題

座長：小澤 章子（国立病院機構静岡医療センター麻酔科・集中治療部統括診療部長）

- 0-1 吸引配管が使用不能となった局所停電の経験から、当院手術室で行った吸引対策について
野澤 隆志（杏林大学医学部付属病院 臨床工学科）
- 0-2 酸素ボンベのインシデント・アクシデント調査
梶原 吉春（東大和病院 臨床工学科）
- 0-3 呼吸管理における酸素ガス使用量調査の試み
佐藤 百合子（東大和病院 臨床工学科）
- 0-4 ガス漏れの“音”により気付かれたシーリングカラム酸素漏れの事例
高木 俊成（東京慈恵会医科大学附属第三病院麻酔科）
- 0-5 手術中に緊急シャットオフバルブ閉鎖操作が必要となった事例を経験して
西野 京子（秋田県立病院機構秋田県立脳血管研究センター 麻酔科診療部部长）

11:45～12:45

◇ランチョンセミナー

座長：徳嶺 譲芳（杏林大学医学部麻酔科学教室 臨床教授）

11:45～12:15

「看護サイドにおける医療ガス安全管理」

道又 元裕（杏林大学医学部付属病院 看護部長）

12:15～12:45

「麻酔科医に於ける超音波診断装置の有用性」

上嶋 浩順（昭和大学医学部 麻酔科講師）

【共催】エア・ウォーター株式会社 エア・ウォーター防災株式会社

12:45～13:00

◇総会

13:05～13:55

◇教育講演「一酸化窒素（NO）に関する基礎研究について」

座長：宮坂 勝之（聖路加国際大学周麻酔期看護学特任教授）

長坂 安子（聖路加国際病院 麻酔科部長）

14:00～15:00

◇スイーツセミナー「そんなこと知ってどうするんですか？」 —気づかないけれどあなたの身近にいる流体力学—

座長：近江 禎子（東京慈恵会医科大学附属第三病院麻酔科学講座 教授・麻酔部診療医長）

木山 秀哉（東京慈恵会医科大学麻酔科学講座 教授）

15:00～17:00

◇シンポジウム 2 / MGR セミナー「首都直下地震発生」

首都直下地震を想定した地域および病院の対応などについて

座長：落合 亮一（東邦大学医療センター大森病院 麻酔科学講座教授）

コメンテータ：西野 京子（秋田県立病院機構秋田県立脳血管研究センター 麻酔科診療部部長）

1. 「首都圏在宅酸素療法患者の概要:病院における災害対策」

倉井 大輔（杏林大学医学部付属病院 呼吸器内科講師）

2. 「災害拠点病院として当院が果たす役割～医療ガス供給設備に関して～」

村野 祐司（杏林大学医学部付属病院 臨床工学室副技士長）

3. 「東日本大震災からの教訓」

松本 忠明（帝人在宅医療株式会社 大阪支店姫路営業所 所長）

4. 「首都直下地震における災害医療体制」

高橋 礼子（厚生労働省 大臣官房 厚生科学課 健康危機管理・災害対策室）

17:00

◇閉会の辞